

1 単元名

「自動車工場をたずねて」（教育出版5上）

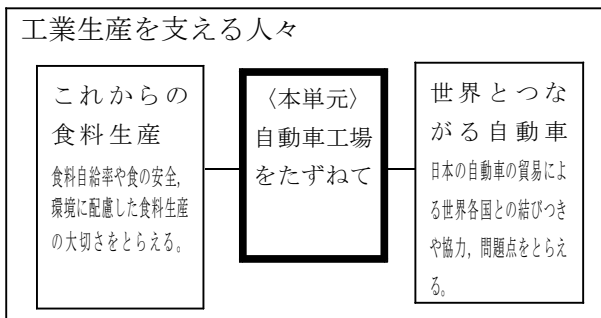
2 単元について

(1) 本単元は、学習指導要領社会第5学年の内容(3)のウを受け、工業の中核である機械工業から、我が国の代表的な根幹産業であり、児童にとっても身近である自動車の生産を教材として取り上げ、工業のさかんな地域の様子を調べ、工業生産に関わる人々が生産を高める工夫・努力をしていることや、我が国の工業の現状と課題をとらえることをねらいとしている。

また、さまざまな工業に関する写真や地図、統計などの資料を収集・選択し、国民生活を支える工業生産の意味や運輸・貿易の働きについて考えさせることをねらいとしている。

この単元では、自動車工場で生産された自動車のゆくえを追求していくことで、これらのねらいを一貫性のある学習によって展開していくことができるものと思われる。

(2) 本単元の系統は次の通りである。



(3) 本単元に係る児童の実態は次の通りである。

5年生の児童数は5人(男子2人、女子3人)である。

1つの資料から複数の気づきを挙げる等、関心・意欲が高い学級で、社会的事象についての知識・理解の定着率も高い。事前に実施した評価問題の解答状況からは、資料からの情報の取り出しにおける丁寧さや、資料を関連付けて解釈することに個人差が見られた。また、考えたことや分かったことを説明することについては、考えたことと、その根拠を結びつけて示す等の文章としてまとめる力が不十分である。

以上から、本学級の児童は、社会的事象の

1 単元名

「新しい時代の幕あけ」（教育出版6上）

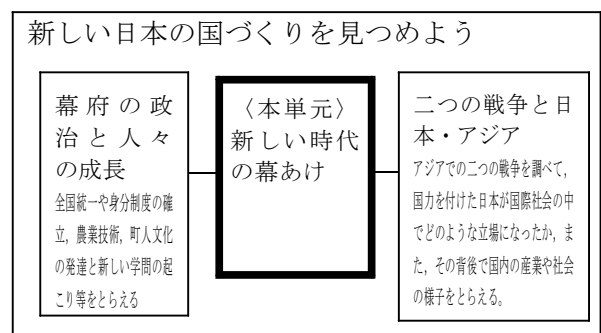
2 単元について

(1) 本単元は、学習指導要領社会第6学年の内容(1)のキを受け、江戸時代末期から明治時代初期にかけての黒船来港、明治維新、文明開化などについて具体的に調べることを通して、我が国が廃藩置県や四民平等の諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことがわかることをねらいとしている。

黒船来港をきっかけとして、約260年間続いた江戸幕府が倒れ、我が国は近代国家へと歩み始める。我が国の近代化は、欧米の列強が市場と原料を求めて世界に進出し、世界の情勢が急激に変化する中において成し遂げられた。

この単元において、人々がさまざまな困難をどのように乗り越え、どのような国づくりを進めたのかを考えることは、現代を生き抜く児童にとって意義深いものであると考える。

(2) 本単元の系統は次の通りである。



(3) 本単元に係る児童の実態は次の通りである。

6年生の児童数は8人(男子6人、女子2人)である。

歴史的事象に対する関心・意欲が高く、自分の考えを進んで表現しようとする子どもが4人いるが、根拠に欠ける等説明的ではない。

事前に実施した評価問題の解答状況からは、児童一人一人に歴史的事象に対する理解の程度に差が見られた。また、複数の資料を関連させて、事象の特徴をつかむことにも課題が見られる。文章資料からの読み取り、自分の考えを文章にまとめる力について、児童間の差が大きい。

以上から、本学級の児童は、社会的事象に

知識・理解は概ね定着しているものの、複数の資料や社会的事象を関連させて考えたり、社会的事象について、原因と結果との因果関係をとらえ、自分の言葉で表現したりする力の定着が不十分であると言える。

(4) 指導にあたっては次の点に留意する。

- 学習内容についての興味や関心を高めるために、これまでの学習や日常の生活を振り返ることで答えを予想できる発問を準備する。
- 写真資料から積み込み作業の内容や工夫を的確にとらえさせるために、各作業の内容をうまくとらえたタイトルを考えさせたり、各作業の手順を予想させたりする。
- 資料からの情報の取り出しや解釈に個人差が見られるので、読み取った内容を互いに確認する活動を取り入れる。また提示する写真資料は見やすいものを準備する。
- 複数の資料からの読み取りを関連付けてまとめられるよう、複数の写真資料から読み取ったことを整理するための資料を準備する。
- 間接指導の時間での個別の資料の読み取りやペアによる対話活動を充実させるために、学習の展開に見通しを持って能動的に取り組むことができるようにするためのワークシートを工夫する。

思考力、判断力、表現力等と言語活動

- 資料から情報を取り出し、解釈する場面や、課題について考え、予想する場面では、気付いたことや考えたことを互いに交換する活動を行い、多面的・多角的な思考力の育成につなげる。
- 自分の考えを表現する場面では、資料等を用いて根拠を示しながら説明するようにし、表現力の向上を図る。
- 単元各時の終末には自己の学習を振り返る活動を設定する。特に、自分の考えが学習を通してどのように変容したのかを文章化させることで自分の思考や判断のプロセスの意識化を図る。

についての知識・理解が十分でなく、事象間の因果関係をとらえることや情報の取り出しに課題があると言える。また、それらの知識や技能を活用して考察することや表現することにも課題があると言える。

(4) 指導にあたっては次の点に留意する。

- 学習内容についての興味や関心を高めるために、これまでの学習を振り返ることで答えを予想できる発問や当時の人々の立場に立って考える発問を準備する。
- 資料の読み取りや解釈に個人差が見られるので、読み取った内容を互いに交換し、確認する活動を取り入れる。
- 考えを伝え合う対話活動や発表の際は、根拠を明確にした表現を心がけさせる。特に、根拠となる資料を使って説明すること、根拠を明確にした説明が苦手な児童には論述の型を提示し、型にそって説明をさせることを工夫する。
- 間接指導の時間での個別の資料の読み取りやペアによる対話活動を充実させるために、学習の展開に見通しを持って能動的に取り組むためのワークシートを工夫する。
- 単元で取り扱う各歴史的事象をつながりのあるものとしてとらえられるよう、単元を貫く課題を設定し、単元を通して課題を解決する展開を工夫する。

思考力、判断力、表現力等と言語活動

- 課題について予想したことを歴史的視点毎に分類したり、資料を使って検証したりすることで、思考力や判断力の育成につなげる。
- 富国強兵や殖産興業等について、グループ毎に調べ、分かったことをまとめて他のグループに伝える活動を通して、理解する力及び伝える力の定着を図る。
- 単元各時の終末には自己の学習を振り返る活動を設定する。特に、自分の考えが学習を通してどのように変容したのかを文章化させることで自分の思考や判断のプロセスの意識化を図る。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	自動車の輸送の様子について調べ、輸送に携わる人たちの工夫や努力、願いをとらえるとともに、工業生産を支える運輸の働きについて考えることができる。
社会的事象への関心・意欲・態度	我が国の工業生産について関心を持って意欲的に調べ、工業製品を生産する仕事の大切さを指摘しようとする。
社会的な思考・判断・表現	工業生産に携わる人々の生産を高める工夫や努力をとらえるとともに、関連工業や運輸のはたらきと関わりについて考え、適切に表現できる。
観察・資料活用	工業生産に関する写真や地図、統計などの資料を目的に合わせて収集・選択し、的確に読み取ることができる。
社会的事象についての知識・理解	工業生産に携わる人々の生産を高める工夫や努力を理解できる。

4 指導計画(13時間取扱い 本時7/13)

学習活動	評価・備考
自動車工場をたずねて 学習課題づくり (1時間) (1) 自動車づくりにはげむ人々 ○自動車工場の写真や配置図から、配置の工夫やそこに工場がつくられた理由を考える。 (1時間)	・自動車づくりの問いから調べたいことを具体的に挙げ、ノートに書いている。 ・工場の位置や広さ、働く人と自然・交通等を関連させた考えをノートに書いている。
○自動車ができるまでの工程や工場働く人たちの工夫や努力について調べる。 (2時間)	・作る工程やロボットと人の役割を分けている等について調べ、ノートに書いている。
○働く人や地域の環境を守るための取り組みについて写真や勤務図から調べる。 (1時間)	・ゴミの処理の方法や、働く人の環境について、それぞれ具体的にノートに書いている。
○自動車のシートがどのように生産され、自動車工場へ出荷されるかを調べ、シート工場と自動車工場との関連について考える。 (1時間)	・シート工場と自動車工場が、注文、生産、納品を通じて深く結びついていることについてノートに書いている。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	長く続いた武士の時代が終わり、明治政府ができて、欧米の制度や文化を取り入れながら国の仕組みを整えていった経緯を調べて、産業の発展、憲法の制定等、近代化を進めた目的や経過をとらえることができるようにする。
社会的事象への関心・意欲・態度	黒船の来航を契機に長く続いた武士の支配が終わり、近代的な国家をつくろうとする動きがおこり、近代化が進んでいったことに興味を持ち、調べようとする。
社会的な思考・判断・表現	明治政府が進めた諸改革が、政治の仕組みや社会、人々の暮らしをどのように変えてきたかを、前の時代からの変化や外国との関係等と関連付けて考え適切に表現できる。
観察・資料活用	年表や歴史地図等を活用するとともに、国際的な背景を考えながら、明治維新や明治政府の中心になった人物の働き、政治の仕組み、社会の変化を調べることができる。
社会的事象についての知識・理解	明治政府が廃藩置県等の改革を行い、欧米の文化を取り入れながら近代的な国づくりを進めてきたことを理解することができる。

4 指導計画(8時間取扱い 本時4/8)

学習活動	評価・備考
新しい時代の幕あけ 学習課題づくり	・近代化に貢献した人々に関心を持ち、感想や調べたいことをノートに書いている。
○黒船の来航とそれに対する幕府の対応や人々の思いや動きを調べ、開国に伴い締結した不平等条約の内容について考える。 (1時間)	・黒船来航による幕府や人々の不安や不平等条約の締結に見られる我が国の国際的な地位の低さについてノートに書いている。
○外国との貿易に伴う人々の生活の変化や大政奉還までの人々の動きを調べ、江戸幕府(武士の時代)の終焉	・開国によって経済が混乱し、幕府への不満が高まった等、幕府が倒れた

(2) 自動車がとどくまで ○完成した自動車を船に積み込む様子や、働く人の工夫や努力を調べる。 (本時：1時間) ○キャリアカーで自動車を運ぶ人たちの仕事の様子や、自動車に傷をつけないようにする工夫や努力について調べる。 (1時間) ○ものや人の輸送手段や交通網の広がりについて話し合う。 (1時間) (3) これからの自動車づくり ○自動車を利用する人たちの願いを調べ、これらの願いがどのように生かされているかを話し合う。 (1時間) ○安全な自動車，人にやさしい自動車づくりのために，自動車会社がどんな工夫や研究をしているかを調べる。 (1時間) ○自動車の使用台数の増加から起こる問題に対して，環境や資源の視点からどのような工夫や研究がなされているかを調べる。 (1時間) (4) まとめ ○単元第1時に設定した学習課題について，その解決までの過程をノートやワークシートを活用して振り返る。 (1時間)	・傷を一つもつけず，決められた時刻までに船に積み込めるよう，協力，工夫している様子を具体的にノートに書いている。 ・自動車に傷をつけず運ぶ工夫や努力，輸送の仕組みについて具体的にノートに書いている。 ・交通網と国土の地形や人口の分布とを重ねて比べている。また，それぞれの交通手段の長短をノートにまとめている。 ・自動車づくりに携わる人々がどのように消費者や社会のニーズにこたえながら生産しているか，ノートに書いている。 ・安全で人にやさしい自動車とは，どのような車かを具体的に考え，ノートに書いている。 ・車に乗る人と車を作る人の両面から，これからの自動車づくりについて自分の考えをノートにまとめている。 ・評価テスト(後日)	までの流れをつかむ。 (1時間) ○明治政府の行った諸改革(五箇条の御誓文，廃藩置県，解放令，使節団の派遣)の内容を調べ，政府がどのような国づくりを目指したのかを考える。 (1時間) ○政府が西洋諸国に追いつくために行った，殖産興業(官営工場)と富国強兵(徴兵令)等を調べ，それらを国際的な背景と関連付けて考える。 (本時：1時間) ○まちの様子や人々の暮らし，学校教育の変化を中心に調べ，新しい時代になって西洋風のものや考え方が多く取り入れられたことをつかむ。 (1時間) ○西南戦争や自由民権運動の高まりについて調べ，人々が新しい政治に対して持っていた願いについて考えることができる。 (1時間) ○大日本帝国憲法制定までの過程を調べ，明治政府がめざした政治のあり方がどのような形で完成していったのかについて考えることができる。 (1時間) ○単元第1時に設定した学習課題について，その解決までの過程をノートやワークシートを活用して振り返る。 (1時間)	理由をノートに書いている。 ・天皇中心の国づくりを目指し，欧米の国のしくみを取り入れた新しい日本の国づくりについてノートに書いている。 ・国際的な地位の向上のため行った，地租改正，徴兵令，官営工場設立等を国際的な背景と関連付けてノートに書いている。本時 ・人々の驚きやとまどいや期待を，前の時代からの変化という観点で考えノートに書いている。 ・新政府の政治と人々の願いとのずれを明確にしながら考え，ノートに書いている。 ・天皇中心の憲法であったことや，国会は自由民権運動の大きな成果であったことについて，ノートに書いている。 ・評価テスト(後日)
--	---	--	---

5 本時の学習

- (1) 目標 工場で生産された自動車の輸送方法や輸送にたずさわる人たちの仕事について調べることを通して、働く人たちの工夫や努力をとらえることができる。
【社会的な思考・判断・表現】

(2) 展開

5 本時の学習

- (1) 目標 明治政府が行った殖産興業や富国強兵の政策について調べることを通して、近代化に向けた工夫や努力をとらえることができる。
【社会的な思考・判断・表現】

(2) 展開

備考	教師の指導及び評価	主な発問・指示等 ※主な言語活動	学習活動【学習形態】	遡	直間		遡	学習活動【学習形態】	主な発問・指示等	教師の指導及び評価 ※主な言語活動	備考
学習シート	・関連工場では、組み立てに必要な部品を必要な時間までに届けること、不良品を出さないことに気を付けていることを確認させる。 ・これまでの学習や日常生活の知識から予想させる。	○前の時間をふり返りましょう。 ○組み立てられた自動車はどのようにして私たちのところまで運ばれるでしょうか。 (予想される反応)・船で運ぶ・列車で運ぶ・トラックで運ぶ・運転して運ぶ等	1 前時を想起する。 2 自動車運搬の方法とその特徴について考える。 (1) 自動車の運搬方法について予想する。 【個別】予想 →【一斉】発表	導 入 10 分	直 間 接 接	① ①	導 入 5 分	1 前時を想起する。	○前の時間をふり返りましょう。	・学習リーダーと打ち合わせしておく。 ・日本が新しい政治や社会づくりに取り組んでいたことを確認させる。 ・岩倉使節団がどのような目的で派遣されたのかを確認させる。	前時の まとめ の掲示 物 学習シート
日本地図	・条件（遠いところ、たくさんの車）に着目して考えさせる。地図を使って（愛知～熊本）具体的に考えさせる。	○遠いところにたくさんの車を運ぶのに適した方法はどれでしょうか。 (予想される反応)・船・トラック	(2) 条件を加えて予想する。				展 開 33 分	2 学習課題について話し合う。 (1) 自分の考えを持つ。 【ペア】予想	○日本は、どのようにしたら西洋諸国と対等になれると思いますか。 (予想される反応) ・不平等条約を改正する ・軍艦などの武器を作る ・工場を造る ・西洋から技術を学ぶ	・これまでの学習から予想させる。 ・そう思う理由も含めて考えさせる。 ※対話・発表により、より多くの予想が共有できるようにする。	
自動車工場の港の資料・フェリーの資料	・車の台数に目を向け、たくさんの車が船に積み込まれることに着目させる。身近な船（長島行きフェリー）と比較させる。 たくさんの車をどのようにして船に積み込むのだろう。	○資料を見て気づいたことや疑問はありますか。 (予想される反応)・車は何台あるのだろう・全部の車が積みこまれるのだろうか。	(3) 運搬船による自動車運搬について考える。								
積み込み作業の資料	・それぞれの作業にタイトルをつけさせることで、作業内容や工夫をとらえやすくする。 ※対話活動により、資料から読み取った情報を共有し、作業の内容や工夫を的確に捉えられるようにする。	○車を積みこむ写真からどんな作業の様子かを考え、作業の流れを予想しよう。 (予想される反応) ①番（指示を出す）作業 ②番（車を運転して船に積む）作業 ③番（車を並べる）作業 ④番（車を固定する）作業 ⑤番（運転手を運び出す）作業	3 学習課題について話し合う。 (1) 自分の考えを持つ。 【個別】予想 (2) 互いの考えを交換する。【グループ】対話 →【一斉】発表	展 開 28 分	間 接 ①	直 接 ① こ わ た り	(2) 互いの考えを交換する。 【一斉】発表 3 富国強兵、殖産興業について考える。 (1) 互いに意見を出しながら分類する。	○予想したことを、1国を強くすること（富国強兵）、2産業を育てること（殖産興業）、3その他の項目に分けてみましょう。	・予想したことを項目毎（富国強兵・殖産興業・その他）に分類、整理させる。		
	・予想できなかった所をノートに書き加えさせる。 ※個別活動と発表によって広げた考えを、文書資料の内容と比較、関連させて整理	○車を積みこむ作業にはどんな工夫がありましたか。 (予想される反応) ・作業を分担している ・たくさん積めるように車の間を狭くし	4 働く人たちの工夫や努力を考える。 (1) 工夫について考える。 【個別】書く →【一斉】発表				直 間 接 接	(2) 明治政府の取組を資料から読み取る。 【ペア】読み取り	○明治政府がどのような取組をしたか資料から読み取りましょう。また、それらの取組がどの項目（富国強兵・殖産興業・その他）と関係が深いか考えましょう。	・互いにサポートしながら読み取りができるよう、ペアを組む。 ※対話活動により、よりの確な読み取り、分かりやすい	明治政府の取組の資料

	させる。	ている ・車がぶつからないように固定している		②	②				説明ができるようにする。	
文章資料		○文章資料を読んで、車を積みこむ工夫について確認しよう。	(2) 工夫について確認する。 【個別】読み取り →【一斉】発表	間	直接		(3) 資料から読み取った明治政府の取組を説明する。 【一斉】発表	○明治政府の取組を資料を使いながら説明しましょう。	・ペア毎にまとめたことを板書させ、班の代表者に資料を示しながら説明させる。	
	・工夫の目的と具体的工夫を整理して書くようにする。 評価 B：傷をつけず、決められた時間内までに船に積み込めるよう、協力、工夫していることを書いている。 A：協力や工夫に加え、前時と関連付けて作業をする人たちの思い等をノートに書いている。	○船に車を積み込む仕事をしている人たちの工夫や努力についてまとめましょう。	(3) 働く人たちの工夫や努力についてまとめる。 【グループ】対話 →【一斉】発表	直	間		4 学習課題についてまとめる。 (1) 自分の考えをまとめる。 【個別】まとめ (2) 互いの考えを交換する。 【一斉】発表	○明治政府はどのようにして西洋諸国と対等な国づくりをめざしたのか、まとめましょう。 ○考えを交換し合い、高め合いましょう。	※わかりやすく説明することを意識してまとめることで考えを明確にし、表現する力を高める。 評価 B：地租改正、徴兵令、官営工場設立等について項目毎にまとめて書いている。 A：項目同士を関連させて書いている。	
学習シート	・次の内容を学習シートに書かせる。 ①自己評価（課題に対する取り組み、考えの深まり） ②自分の変容（初めて知ったことや考え方、新たな疑問等） ※学習を通して、自分の考えがどのように変容したのかを振り返りながら本時の学習のまとめを行わせる。	○今日の学習をふり返ろう。	5 今日の学習をふり返る。	終末7分	間	直	5 今日の学習をふり返る。	○今日の学習をふり返ろう。	・次の内容を学習シートに書かせる。 ①自己評価（課題に対する取組、考えの深まり） ②自分の変容（初めて知ったことや考え方、新たな疑問等） ※学習を通して、自分の考えがどのように変容したのかを振り返りながら本時の学習のまとめを行わせる。	学習シート
	・一つの学級であるという意識を持たせる。	○お互いの学習の内容について伝え合いましょう。	6 今日の自分の変容や学習内容をお互いの学年に紹介する。	直接④	直接④		6 今日の自分の変容や学習内容をお互いの学年に紹介する。	○お互いの学習の内容について伝え合いましょう。	・一つの学級であるという意識を持たせる。	